

# 学級活動指導案

議題名「クラスをよりよくするためのスマイルアクションを考えよう」

〔学指要領：(1)ア〕

令和6年10月 第6学年 指導者 林 秀樹

## I 議題の構想

### 1 議題観

本議題は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説特別活動編」に示されている学級活動の内容「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」のうち、「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関わるものである。学級や学校における生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することを目指している。

本学級では話し合いを行い、学級目標を「みんなを笑顔にする魔法 プラス言葉があふれる学級」と決めたが、現在の学級の課題は何かを把握し、そのためにどのような行動をしていけばよいのかを理解している児童は少ない。そこで、学級のアンケートを基にして課題を見いだし、児童の本音を引き出すことで話し合いの内容に納得し、学級のために行動していく児童の力を養う上で価値があると考え、本議題を設定した。

### 2 研究との関わり

研究主題は、「話し合った内容に納得した上で、学級のために行動できる児童の育成」、副主題は「互いを認め合える雰囲気づくりとＩＣＴの活用を通して」である。本議題では、アンケートから学級の実態をレーダーチャートに表し、課題を共有した上で、具体策となるスマイルアクションを考える。学級の意見を適切に反映するために、本音で話し合うことが必要になる。また、本議題について話し合うことは、出た意見を比較・検討する中で、児童が意見をまとめ合意形成する力を育てるためにも有効であると考える。

### 3 育成を目指す資質・能力及び児童の実態

	資質・能力	児童の実態
知識及び技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。	・語彙が少なく、自分の思いに合わせて適切に言葉を選ぶことが苦手な児童が多い。
思考力、判断力、表現力等	・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようになる。	・学級の課題に目を向けられる児童は少ない。また、その課題を解決するために行動できる児童が限られている。
学びに向かう力、人間性等	・生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	・授業の中で、男女関係なく協働し学習できるようになってきている。

#### 4 評価規準

知識・技能	・話合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。
思考・判断・表現	・よりよい学級を目指し、現状の問題を把握し、解決に向けた話合いの進め方に沿って合意形成を図ろうと実践している。
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい学級を目指し、学級の実態を踏まえた自己の考えをもち、友達や学級全体へと広げようとしている。

#### 5 指導及び評価、ICT活用の計画（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

過程	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
事前の活動	<p>■普段の学校生活の様子を想起し、学級の課題に目を向けられるようにする。</p> <p>□学級の実態を把握するためのアンケートに答える（★）。</p> <p>□アンケート結果のグラフを見て、個人で学級の課題を見いだす。（★）</p> <p>□本時で話し合う課題のパワーについて考え、決定する。（★）</p> <p>□前回の話合いの振り返りを見ることで、次回の話合いに向けて見通しをもつ。</p>			○	<p>◆普段の学級の様子を基に、課題について進んで考えている。〈観察・学習支援ソフト（態）〉</p>
本時の活動	<p>■学習支援ソフトを活用してスマイルアクションについて話し合う活動を通して、話し合った内容に納得した上で、学級のための行動を考えられるようにする。</p> <p>□「意見の聞き方」を参考にしながら、グループごとに話し合う。（★）</p> <p>□学習支援ソフトを活用して、スマイルアクションについて学級全体で話し合う。（★）</p>	○	●		<p>◆話合いの流れを理解し、意見を聞いた上で合意形成を図っている。 ＜発言・行動（知）＞</p> <p>◆学級力について、学級の実態を踏まえた考えを表現している。 ＜フォームの内容・発言（思）＞</p>
事後の活動	<p>■合意形成したことを学級全体で共有し具体的な行動につなげたり、次の課題解決に生かしたりすることができるようする。</p> <p>□合意形成したことを基に具体的な行動目標を掲示する。（★）</p> <p>□スプレッドシートを活用し、個人や学級の活動について振り返る。（★）</p>	○	○		<p>◆合意形成したスマイルアクションについて、協力し合って実践しようとしている。 ＜発言・行動（態）＞</p> <p>◆合意形成した活動について、協力し合って実践し、自身の実践について振り返っている。 ＜スプレッドシート・発言（思）＞</p>

## II 本時の学習

1 ねらい 学習支援ソフトを活用してスマイルアクションについて話し合う活動を通して、話し合った内容に納得した上で、学級のための行動を考えることができるようとする。

### 2 展 開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ I C T 活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 議題や提案理由を確認し、本時のめあてをつかむ。(★) (導入 5 分)</p> <p>S : 今日のめあてを達成するために、話し合いたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜議題＞</p> <p>クラスをよりよくするためのスマイルアクションを考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜めあて＞</p> <p>自分の思いや考えを伝え合おう。</p> </div>	<p>○見通しをもって話し合いに参加できるように、提案理由や議題を確認し、話し合いを行う意義を問い合わせる。</p> <p>○進んで話し合いに参加し考えを深められるように、学級目標を意識しながら話し合いを進め、聞くことや意見をつなげることの大切さを意識するように促す。</p> <p>○アンケート結果のレーダーチャートを示し、学級の日々の様子に目を向けられるようにする。</p>
<p>2 学級の課題について、スマイルアクションを個人で考え、グループで話し合う。(★) (展開 15 分)</p> <p>S : 勉強が分からぬ時に教えてくれる友達にも感謝するべきだな。どのような方法で伝えようか。</p> <p>S : 卒業まで 5 ヶ月だから、先生や関わってくれた人たちに何か作るのはどうかな。</p>	<p>○本音で話し合えるようにするために、「意見の聞き方」を示したり教師が進んで児童の意見を認めたりすることで、互いの意見を受け入れ、認め合える雰囲気づくりをする。</p> <p>○学習支援ソフトの付箋機能を活用し、個の考えを基にグループで意見を出し合えるようにする。</p> <p>○学級の実態を基に話し合いを進められるように、アンケートの数値だけでなく普段の学校生活の様子を想起するように促す。</p>
<p>3 学級の課題について、スマイルアクションを考え、学級全体で合意形成を図る。(★) (展開 20 分)</p> <p>S : 一人一人にとって「よかった」と思ってもらえるプレゼントってなんだろう。</p> <p>S : 言葉や物をプレゼントするのもいいけど、日々の授業にしっかり取り組むことが、感謝の気持ちを伝えることにつながるのではないか。</p>	<p>○多数決ではなく少数意見にも注目して意見をまとめられるように、合意形成の際は「意見のまとめ方」を示したり、学習支援ソフトを活用しグループごとに話し合った結果をまとめたりする。</p> <p>○話し合う上で話題が逸れたり、意見がまとまらなかつたりする場合には、司会原稿を参考にしながら司会に進行させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>話し合いの流れを理解し、意見を聞いた上で合意形成を図っている。&lt;発言・行動（知）&gt;</p> </div>

4 合意形成して決まったスマイルアクションについて確認し、本時の話し合いを振り返る。 (★) (終末5分)

S：自分の意見を伝えられたと思う。話の聞き方も意識できたよ。

S：他の意見を聞いた上でも、やっぱり自分の意見がいいと感じたな。クラスで決まったスマイルアクションを頑張っていきたいな。

◎振り返りの記録を蓄積するために、話合いで決まったスマイルアクションに対する考えをフォームに入力させる。

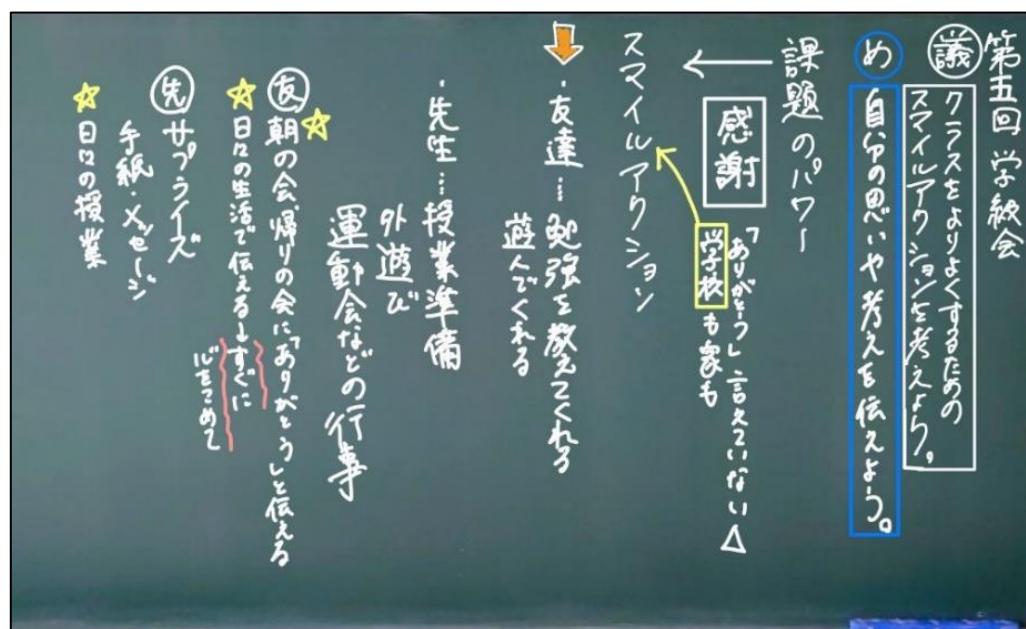
◎めあてとスマイルアクションについて振り返る  
ように、フォームの項目を設定する。

○よりよい学級になるための行動を促すために、定期的な振り返りをしたり、まとまった意見を基に具体的な行動目標を掲示したりすることを伝え  
る。

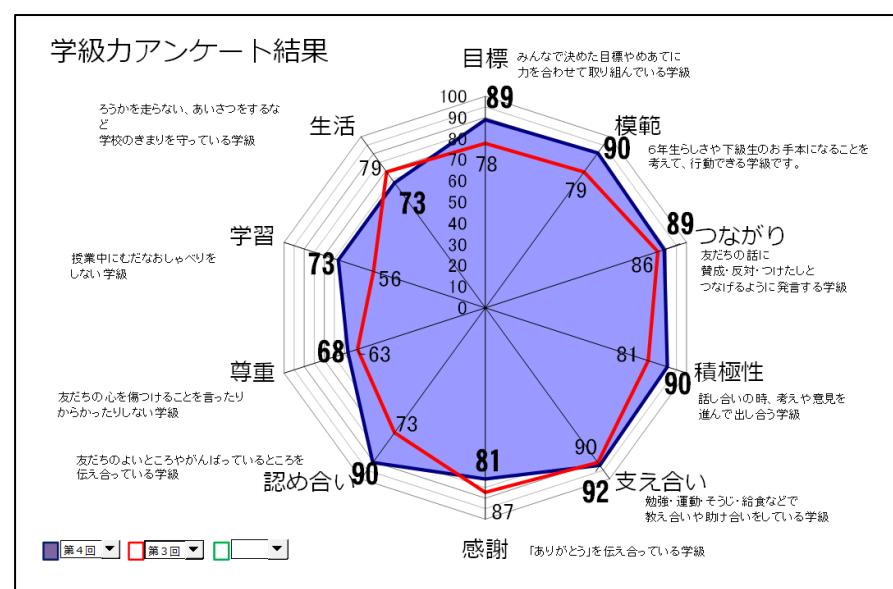
### ◆評価項目

学級力について、学級の実態を踏まえた考えを表現している。<フォームの内容（思）>

### 3 板書計画



## 共有した児童の画面 (学習支援ソフト)



### III 備 考

#### 1 他教科等（道徳科、自立活動も含む）との関連

- ・児童のつぶやきを大切にしながら授業展開し、意見を言いやすい学級の雰囲気づくりを心がける。

本指導案に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標又は登録商標です。

各社の商標又は登録商標

本指導案では、Google Formsをフォーム、Google スプレッドシートをスプレッドシートと記載しています。

Google Forms、Google スプレッドシートは、 Google LLCの商標 又は登録商標です。

なお、本文中には、<sup>TM</sup>マーク、<sup>®</sup>マークは明記していません。